

事務事業名		障害者団体運営費補助事業		☐ 実施計画掲載事業 ☐ 総合戦略掲載事業																									
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間																									
	施策名	11 障がい者(児)支援の充実		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 不明 年度～)																									
	基本事業名	01 社会参加の促進		☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																									
根拠法令		身体障害者福祉法、知的障害者福祉法		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 03 01 02 02 29																									
所属	部課名	生活福祉部地域福祉課		事務事業区分																									
	課長名	三上護		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(1～4以外)																									
	係名	障害福祉係	電話 27-3111																										
	担当者	藤田一枝	内線 187																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 障害者福祉の向上に寄与する団体(大船渡市身体障害者協会、大船渡市知的障害者育成会)に対し運営費の助成を行う。 業務内容は、各団体からの補助金申請受付、交付決定、補助金の支払い、実績報告の受理。 事業費は、補助金として支出される。																													
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																											
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
		一般財源																											
	事業費計(A)	0																											
	人件費	正規職員従事人数																											
延べ業務時間																													
人件費計(B)		0																											
トータルコスト(A)+(B)		0																											

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

大船渡市身体障害者協会、大船渡市知的障害者育成会に対し、補助金申請に基づき補助金の交付を行った。

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

前年度と同じ。

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

(直接の対象) 大船渡市身体障害者協会
 (直接の対象) 大船渡市知的障害者育成会
 (間接の対象) 各団体の会員

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

運営費を補助することにより、団体運営が円滑になり、会員数が増える。

④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)

障害者に、自立し社会参加できるようになってもらう。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 補助金の交付件数	件
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 対象機関数	箇所
キ 会員数	人
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 会員数	人
シ	
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	270	250	250	250	250	250
			事業費計 (A)	千 円	270	250	250	250	250	250
	人件費		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
			延べ業務時間	時 間	20	20	20	20	20	20
			人件費計 (B)	千 円	80	80	80	80	80	80
			トータルコスト(A)+(B)	千 円	350	330	330	330	330	330
⑤活動指標	ア	件	2	2	2	2	2	2		
	イ									
	ウ									
⑥対象指標	カ	箇所	2	2	2	2	2	2		
	キ	人	400	400	400	400	400	400		
	ク									
⑦成果指標	サ	人	400	400	400	400	400	400		
	シ									
	ス									

事務事業ID	0267	事務事業名	障害者団体運営費補助事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
障害者団体の運営に対する補助は、以前から要望されて行ってきた。開始年度については不明。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
会員の高齢化及び会員数が減少している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
会員拡大のために手帳所持者名簿が欲しいといわれているが、個人情報保護の観点から難しい。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	運営費を補助することで、障害者自立のための事業促進や障害者の積極的な社会参加につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	障害者基本法により、地方公共団体は障害者の福祉を増進する責務があり、障害者は社会活動に参加する機会を与えられるものとされるため。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	対象、意図ともに妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	会員数増加のためには、団体のより活発な事業実施が望まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	障害者団体が行う各種事業の縮小につながり、障害者の社会参加の機会縮小が懸念される。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	事業費は補助金であるため、補助金を削減することにより、障害者の社会参加の低下につながる。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	補助金交付事務の手続きのため所要時間は削減できない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	会員からも会費を徴収している。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 団体の組織強化。団体と協力しながら事務局体制の強化を図る。	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	団体との意見交換により、団体の運営状況等を勘案し、必要に応じた補助金を交付する。